令和3年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	23	事業No.	332
会計	下水道事業会計		
事業区分	経常	実施区分	継続
開始	H30	終了	

事務事業名	下水道事業			
担当課等名	下水道課			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市下水道ビジョン(下水道事業経営戦略)
				飯田市生活排水処理基本計画・飯田市循環型社会形成推進地域計画
				飯田市下水道ストックマネジメント計画・飯田市下水道総合地震対策計画
	法令・例規等			下水道法・都市計画法・電気事業法・飯田市下水道条例・飯田市農業集落排水施設条例
				浄化槽法・飯田市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱・飯田市浄化槽清掃補助金交付要綱
				水質汚濁防止法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、悪臭防止法
事業目的	対象	・下水道施設全体（処理場を除く）の住宅、事業所等の排水　・個別処理区域内の住宅、事業所等の排水 ・管路施設		
	意図	下水道管路施設の適正な維持管理とライフサイクルコストの削減に努めるとともに、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図る。		

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	★平成25年度に下水道整備事業は終了し、今後は老朽化に伴う更新・改修・維持管理コストの増加及び、災害時の施設破損が避けられない状況となっています。少子高齢化社会の進展や人口減少社会を迎えるなかで、効率的かつ、適正に維持管理を進めることにより公共用水域の水質保全を図ります。 ★管路改築工事等では建設廃棄物の再資源化等適正管理をさらに努める必要があります。 ★個人管理の浄化槽の管理や水質基準の適合が課題であり、適正な維持管理が行われるよう普及啓発を図ります。

3年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・令和3年度からは新たな下水道ビジョン(下水道事業経営戦略)に基づき、引き続き下水道管路施設を適正に維持管理します。 ・排水設備工事における確認・開始・完了等各種申請に対し関係法令に即した指導・確認・検査を行います。 ・個別処理区域内の合併処理浄化槽設置の促進と、浄化槽の適正な維持管理を推進するための指導や助成を行います。 ・ストックマネジメント計画による管路の長寿命化や、下水道総合地震対策計画による耐震化を実施し、下水道施設の最適化とリスク軽減を図ります。	営業費用(施設維持管理業務等)	2,247,411
	営業外費用(企業債利息等)	470,743
	資本的支出(ストマネ改築等・企業債元金)	2,413,236
	合併処理浄化槽普及促進事業	43,305
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
ストマネ計画における改築対象重要管渠	km	266							
ストマネ計画に伴う管渠改築	m	254							
公共桝設置・改修	個所	110							
排水設備工事確認・完了検査及び水質検査	件	1,063							
合併処理浄化槽設置補助金交付	戸	44							
地震対策事業人孔管口耐震化実施個所数	口	10							

3年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	5,174,695
国庫支出金	18,481
県支出金	6,105
地方債	145,400
その他	2,485,492
一般財源	2,519,217

特定財源内訳及び補足事項

（そ）受益者負担金・分担金・加入金56,115千円、引込管工事負担金1,080千円、他事業関連布設替工事補償金1,120千円、一般会計繰入金1,411,089千円、長期前受金戻入益1,008,610千円、受取利息275千円、雑収益5,583千円、手数料1,620千円
（国）循環型社会形成推進交付金(1/3) 5,581千円、防災・安全社会資本整備交付金12,900千円（県）合併処理浄化槽設置整備事業補助金(1/3)6,105千円
（起）下水道事業債

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	74	2	1	0	0	0	2,247,411 0	営業費用
2	74	4	1	0	0	0	455,379 0	建設改良費
3	74	2	2	0	0	0	470,743 0	営業外費用
4	74	4	2	0	0	0	1,957,857 0	企業債償還金
5	1	4	1	5	20	0	43,305 0	合併処理浄化槽普及促進事業費
6								
7								